

向日市 緑の基本計画

～市民が誇る都の魅緑づくり～

【改訂版】



令和2年10月

向日市

はじめに

向日市は、京都府の西南部に位置し、市域面積は7.72平方キロメートルで、西日本で一番コンパクトな市として知られています。

しかし一方では、「長岡京」が平安京に遷都されるまでの10年間、本市域が日本の都であったというきわめて古い歴史をもっており、豊かな生活文化を培ってきたところでもあります。

そのような特長を持つ本市の緑地の保全と緑化の推進を総合的かつ計画的に実施し、健康で文化的な住環境の向上を図ることを目的として、平成19年3月に、緑の基本計画を策定いたしました。

その後、策定から10年以上が経過し、洛西口駅周辺の北部開発やＪＲ向日町駅東口開設事業など本市を取り巻く状況が大きく変化しております。

本計画の改訂にあたり、上位計画である「第２次ふるさと向日市創生計画」や「第３次向日市都市計画マスタープラン」、「向日市歴史的風致維持向上計画」が策定されましたことから、これら計画を掲載するとともに、人口や面積などの基礎資料について時点修正を行うなどの見直しを行ったものです。

引き続き、市民・企業・行政の連携・協働により、本計画の基本理念である「市民が誇る都の魅^{みやこ}緑^{みりょく}づくり」に基づき、本市が有する向日丘陵の「緑」や古墳群や長岡京時代の遺跡など長い歴史に培われた「緑」の保全・活用を図り、次世代に引き継ぐことができるまちづくりを進めてまいりますので、市民の皆様の積極的なご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和２年１０月

向日市長 安 田 守